

# 農薬表示ラベルの読み方

## 6月の農作業

農薬のラベルには、使用にあたってのいろいろな情報が掲載されています。農薬は適切に使用すれば安全な資材ですが、適切に使用されないと薬害や効果不足を引き起こすだけでなく、周辺環境に危害を及ぼす恐れがあります。使用前にはラベルをよく読み、記載事項を守って散布しましょう。

### 散布をするその前に…

■生理障害か虫か病気が相手を特定  
生理障害に農薬は効果なし(トマト：尻腐れ等)

### ■的確な薬剤を選択

農薬には予防剤と治療剤がある

- 予防薬を病気になってから散布しても遅い
- 散布時期に要注意
- 治療薬でも初期発生で散布することが肝心

虫はできるだけ小さいうちに

- 卵に効果があるのか、成虫に効果があるのか、幼虫に効果があるのか要注意



### 農薬表示ラベル

#### ①適用範囲

- どんな作物に使えるか  
ラベルに記載されていない作物には使用できません。
- どんな病気、害虫、雑草に有効か  
作物ごとに防除の対象となる適用害虫名が記載されています。
- 薬量、希釈倍数  
作物ごとに希釈倍数、散布量が異なります。必ず記載された希釈倍数で使用してください。希釈倍数より低い倍数(濃い濃度)では使用できません。また、同じ作物であっても対象の病害虫ごとに希釈倍数が異なることがあります。
- 使用時期(収穫の何日前、移植後何日まで等)  
農薬の残留や作物への薬害、環境への配慮等を考慮して決められています。「収穫何日前まで使用できるか」という基準は、農作物への残留に直接関係しますので、特に注意してください。
- 総使用回数(何回まで使えるか)  
同一薬剤の延べ使用回数を制限しています。(農薬の有効成分で制限されているので、農薬の名前が違っていても、同じ有効成分を含む農薬には注意が必要です。)

#### ②効果・薬害等の注意

対象作物に対する薬害や混用についての注意点が説明されています。

#### ③安全使用上の注意

農薬を使用する人に対するの注意点が記載されている他、「医薬用外毒物・劇物」等の記載がされています。劇物はその譲渡先を明らかにするため、氏名、数量などの記入や捺印が必要です。

#### ④その他

魚毒性(水産動物への影響)、農薬中毒の処置や農薬の保管などの記載があります。

農薬の使用に当たっては、使い慣れた農薬であってもラベルをよく読み、農薬の使用基準を必ず守ってください。(違反した場合には罰則が科せられることもあります。) 農薬使用前には必ずラベル確認を!!

裏面は農薬の表示ラベル(例)を掲載しています。

農作業のページは取りはずして別に保存し活用してください。

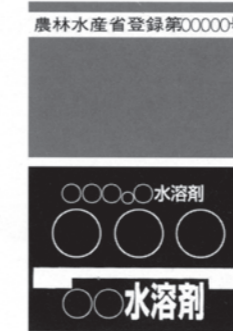
No.278 平成26年6月23日発行

# 農薬の表示ラベル(例)

## 6月の農作業

### 〇〇水溶剤の特長

- ◎溶けやすい
- ◎使いやすい
- ◎顆粒タイプ



成分：カルタップ塩酸塩……………75.0%  
〔1,3-ビス(カルバモイルチオ)-2-(N,N-ジメチルアミノ)プロパン塩酸塩〕  
結合剤等……………25.0%  
性状：青緑色水溶性細粒

【医薬用外劇物】

100g入

〇〇〇〇〇〇株式会社 D1



ラベルをよく読む 記載以外には使用しない

小児の手の届く所には置かない

### 【適用害虫・使用方法】

●散布剤、種もみ浸漬剤として 使用する場合

作物名	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用時期*	総使用回数*
稲	ニカメイチュウ コブノメイガ イネツトムシ	1,500	21日	6回
	イネハモグリバエ	1,500~3,000		
	イネシガレセンチュウ	浸種前		
キャベツ	コナガアオムシ	1,500	14日	4回
はくさい	アブラムシ類	1,000	7日	3回
だいこん	ダイコンツクイムシ			
なばな	コナガアブラムシ類	1,500	5回	3回
しょうが	フキノメイガ アワノメイガ			
さやえんどう	ウラナミシジミ ナモグリバエ	1,500~3,000	前日	3回

### 【製造元】

〇〇〇〇〇〇株式会社

### 【製造場】

〇〇〇〇〇〇株式会社〇〇工場

### ②△効果・薬害等の注意

- 〇〇〇〇剤には混用しない。(薬害)
- 〇〇〇〇液とは使用直前に混合する。(分解)
- イネシガレセンチュウ防除に種もみ消毒する場合、催芽前に処理する。(薬害)
- あぶらな科野菜には夏季高温時の苗や軟弱な苗の場合には使用しない。(薬害)
- たばこ・なすには薬液がからないように散布する。(薬害)
- かきには果実の着色直前以降は散布しない。(薬害)
- かき・ぶどうには樹勢の弱い場合には使用しない。(薬害)
- ほうれんそうには高温時使用しない。(薬害)
- ミナミキイロアザミウマには初発生をみたら直ちに散布する。また、ていねいにかけて残りのないように散布する。(効果)
- びわのナシヒメシンクイには、新梢、収穫跡、芽かき跡、剪定跡等に食入した幼虫に散布する。
- キウイフルーツには、新葉に薬害(黄変)が生ずることがあるので注意する。
- ガーベラには、品種(パープルレイン、マンボなど)によっては薬害を生ずるおそれがあるのであらかじめ薬害のないことを確かめたうえで使用する。
- シクラメンにはあらかじめ散布して薬害の出ないことを確かめた上で使用する。
- べースト肥料と混和して側条施用する場合の注意:  
●同一の害虫を防除対象とする育苗箱施用薬剤とは併用しない。(薬害)  
●使用した機械を洗浄する際は、洗浄水が水路等に入らないように注意。  
●アルカリ性べースト肥料との混和は有効成分が分解する恐れがあるので、混和可能が確認されているべースト肥料以外との混和はさける。
- 使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

### ③△安全使用上の注意

- 香に長期毒性があるので、付近に菜園がある所では使用しない。
- 医薬用外劇物。取扱いは十分注意。誤って飲み込んだ場合は吐き出させ、直ちに医師の担当を受けさせる。使用中に身体に異常を感じた時は、直ちに医師の担当を受けさせる。
- 散布液調製時には保護眼鏡を着用し、薬剤が眼に入らないよう注意。眼に入った場合は直ちに十分に水洗し、眼科医の担当を受けさせる。(強い刺激性)

- 散布液調製時には不浸透性手袋を着用し、薬剤が皮膚に付着しないよう注意。皮膚に付いた場合は直ちに石けんでよく洗い落とす。(強い刺激性)
- 散布等の作業時は防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用する。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをする。
- 空ピンは團場等に放置せず適切に処理する。

### ④治療法…

レシステイン製剤の投与が有効。(動物実験で報告)  
魚毒性…水産動物に比較的強い影響あり。養魚田及び養殖池等周辺での使用は避ける。種もみの浸漬残液を河川、湖沼等に流さない。ドジョウには特に影響を及ぼすので十分注意。  
保管…飲食物・食器類と区別し、密封して直射日光をさけ、冷涼・乾燥した所。カギをかける。

裏面は農薬表示ラベルの読み方を掲載しています。

農作業のページは取りはずして別に保存し活用してください。

No.278 平成26年6月23日発行